

ファイナルレポート

国際コンポーネント・システム・アプリケーション専門見本市
2020年11月9日～12日

2020年11月17日

electronica - 初のデジタルフォーマット開催でエレクトロニクス業界に強烈な印象

Summary

- バーチャル開催に8,253人が参加
- 全参加者の52%がドイツ国外からの参加
- デジタル会議プログラムに強い関心

2020年11月9日から12日まで electronica としては初のバーチャルフォーマットによる electronica virtual が開催され、25カ国から参加した209社がエレクトロニクス関連のソリューションや製品を紹介した。また、79カ国から8,253人の参加があり、バーチャル展示ホールやデジタル会議においては最新の技術動向や革新技术が取り上げられた。

主催メッセ・ミュンヘンのマネージング・ダイレクタ、ファルク・ゼンガーは、「electronica virtual は、専門的議論、知識移転、そして新たな着想を得る場所の必要性が高いことを明確にした。electronica virtual は、そのニーズに応え、久しぶりに世界中の業界関係者がデジタルでビジネスの場を共にすることを可能にした。今回のデジタル開催は79カ国からの参加者に大変好評であり、今後も見本市の一環として重要な役割を果たすことになるだろう。とは言え、従来のフェイス・トゥ・フェイスの見本市に置き換えることはできない。次回、2022年には業界関係者がミュンヘンに参集できることを楽しみにしている」と話した。

NXP Semiconductors 社の社長兼 CEO の Kurt Sievers 氏は、「デジタルフォーマットで開催された electronica のおかげで、世界各国の関係者に自社製品を紹介し、多くのビジネスリードを獲得することができた。国際的な企業間議論は、我々の業界の生命線だ」と述べた。

新型コロナショック後、業界はわずかながら回復基調

新型コロナウイルスの世界的大流行は、エレクトロニクス産業にも大きな打撃を与えた。しかし、業界団体 ZVEI (ドイツ電気・電子工業連盟) は、最悪の状態は脱し、2020年の後半はわずかではあるが前向きな兆候が具体的に見えてきていると発表した。ZVEI マネージング・ダイレクタの Christoph Stoppok 氏は、「私たちは1930年以来の最悪の不況を経験している。しかし、同時に将来についてはかなり前向きにとらえている。electronica Virtual 開催中、新型コロナウイルスによる制約を受けることなく、業界全体で議論し、革新技术を確認し合い、業界全体を活性化することができたことを大変嬉しく思う」と、継続的な回復への期待を表明した。

開催結果

electronica virtual は、デジタルフォーマットによって技術の包括的な概要を提供した。セグメント分けされた12のバーチャルホール内に25カ国から209社が出展し、革新技术や新製品などを発表した。展示エ

リアは、オートモーティブ、組み込みシステム、EMS、半導体、ワイヤレス技術のセグメントに分かれており、参加者はバーチャルブースを訪問し、チャット機能を利用して出展社と直接会話をすることができた。8,253 人のユニークユーザの 52%はドイツ国外からの参加で、ドイツに次いで参加の多かった国は、順に、オーストリア、イタリア、日本、イギリス、スイス、そしてアメリカだった。4 日間の会期中に 1 日平均 4,500 人のユニークユーザが参加した。

CEO ラウンドテーブルのトピックス:新型コロナウイルスの影響

今年の CEO ラウンドテーブルは、「新型コロナウイルス時代と今後、エレクトロニクス産業はどの方向に発展していくのか」を議題として開催された。STMicroelectronics 社の Jean-Marie Chery 氏、Pepperl + Fuchs 社の Gunther Kegel 氏、Infineon Technologies 社の Reinhard Ploss 氏、そして NXP Semiconductors 社の Kurt Sievers 氏によって議論が交わされ、「エレクトロニクス業界は、新型コロナウイルスの影響を受け、2020 年の上半期は収益の急激な減少が目立ったものの、この危機を当初の予測よりかなりうまく乗り越えつつある。2021 年以降においても非常に前向きにとられている」と締めくくった。

デジタルフォーマットでも、豊富な会議・フォーラムプログラム

会議ほかの併催プログラムでは 250 件もの講義が開催され、16,000 人以上のユニークユーザが聴講するなど、豊富なプログラムに大きな関心を集めた。オンライン会議プログラムは 4 つの主要テーマで構成されている。electronica Automotive Conference では、e-モビリティやコネクティビティといったトピックを掘り下げた。electronica Medical Conference ではセキュリティとモバイルについて、electronica Embedded Platforms Conference では機械学習とセンサーについて、そして、Wireless Congress では、オートモーティブ、医療等の分野におけるシステムやモバイル・アプリケーションの開発について、各々講演が行われた。またフォーラムでは、サイバーセキュリティ、組み込みシステムと IoT、パワーエレクトロニクス、プリントド・エレクトロニクスなどの分野における動向等について議論された。

スタートアップ企業へ electronica fast forwards 賞

electronica では Elector と共同で、将来有望なアイデアを持っているスタートアップ企業に賞を授与している。今年の electronica fast forward 賞は、ハンガリーのスタートアップ企業である AXS Motionssystem 社が選ばれ、人間工学評価システムによる職場評価・認定の推進のためのマーケティング予算 75,000 ユーロに加えて electronica 2022 での無償ブースが贈られた。

次回の electronica は、2022 年 11 月 8 日から 11 日まで、ドイツ・ミュンヘンで開催される。

資料請求、各種お問い合わせ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階
Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)